

# 流星群プロジェクト



## 主旨

---

プロジェクトの全体像

---

企業コマーシャル

---

放送・マスコミ・WEB

---

宿泊・旅行

---

イベント・アミューズメント

---

学校・団体・施設

---

プロジェクト事務局

---

イメージ・ソング

---

参考資料

---

# 主旨

## ■ 消費の閉塞状況に何かできないだろうか？

21世紀が始まり、IT革命やブロードバンドネットワークと、新しい時代の産業インフラが消費者の夢を着実に繋いでいきつつある実感を持ちながらも、やはり就職や失業率の悪化、企業の収益性の低化、公共財務体質の破綻などと、デフレーション的社会・経済不安が蔓延する現実の中で、消費者意識にも閉塞状況が生まれています。

そして、自然治癒力やアメリカ市場への儂い期待も、これまでのように安易に持ち得なくなってきた現状で、私達開発やイベントを仕掛ける者が、閉塞状況に陥ろうとしているこのような社会・経済に対して、何かオリジナルに提案・貢献をしていけるものはないのだろうか？という事は常に意識していきたいと思っています。

そのような問題意識の中で、以下の考えをまとめてみましたので、ご検討とご協力等頂ければ幸いです。

## ■ これまでと違う消費の夢価値創り

政治・経済等における“痛みをともなう聖域無き構造改革”に長期的には期待できるにしても、そのような多様な金融・財務的施策と合わせて、やはり現代生活ニーズの飽和状況の中で、日本史上においても未体験な消費の本格的デフレ落込みに対して、**これまでと違う魅力的な消費の夢価値とその伝え方**を創り出す事が、商品開発やイベントサイドの提案を業とする者として急務なものであると考えます。

## ■ しし座流星群を環境のアイコンテーマに

しし座流星群はテンペル・タットル彗星という、33年周期で回帰する彗星の撒き散らしていったガスや氷の粒子の中を、地球が通り過ぎるとい、人々の想像を美しく刺激する天体ショーとして有名で、1998年の盛り上がりは、**星空マニアばかりでなく一般のカップルやファミリーにまで興味や行動が広がったもの**として記憶に新しく、又その後ヨーロッパを中心に見られた“**流星雨**”は大きな話題にもなりました。残念ながら日本においては未だ期待した程の成果が得られない状況となっています。しかし研究者によれば、2002年までは流星雨が出現する可能性が十分に残っていて、むしろ日本においては2001年11月が大いに期待できるという予測もされています(アッシャー理論)。

星空を見上げる等という事は、現代文明がこれまで否定してきたものの象徴であればこそ、**環境というこれからの時代に大切な生活価値観の琴線に触れるもの**として、多くの人の心を結集し動かすテーマとして注目できるものと考えます。

## ■ 全ゆるチャンネルのネットワークで

現在も正月・バレンタイン・ホワイトデー・入学卒業・お花見・母の日・ゴールデンウィーク・夏休暇・紅葉・X'マス、そして万博やオリンピック・USJ等といった、消費行動に繋がるイベント行事の多くが定着し、その一つでも欠ければ大きなマイナス経済効果となりかねない程に、多くの企業や団体など分野を問わない広いネットワークを絡めたものとなっています。

そのような従来のメイン・イベントに、**流星群の季節を新たなテーマとして加えられれば**、というのが今回のプロジェクト提案の主旨・願いです。

多様な企業のCMや企画キャンペーン、放送・マスコミやWEBネットワーク、宿泊・旅行関連、イベント・アミューズメント関連、そして学校・団体・公共施設等を含めて、幅広い分野からの参加協力を求めます。

ある日時を期して一斉に始まる、心を合わせた期間限定の一大イベントを新しく起こし定着できれば、**大きな経済効果も期待でき、又あらゆる面で閉塞状況にある消費者意識を活性化**し、共有できるロマンや楽しみを与えられる事はとても意義深い事と考えます(毎年この季節は巡ってきますし、2年掛かりで段階的に盛り上げ、2002年以降に「夜空の日」として国民の祝日への制定提案など、新たな消費機会を創出する……)

何かと展望の見えてこない、地盤沈下を懸念されつつある日本の中で、新旧のネットワークを活用して一つの夢に結集できるというその事実を、日本発の元気復活そして消費喚起のひとつのメッセージとして世界にアピールしていければと思います。

# プロジェクトの全体像

## ■ 目的

11月17日(土)~18日(日)の流星群の極大日に、恋人達は二人きりの、ファミリーは家族水入らずの、独り者は一ヶ月後のX'マスを控え相手を探して、深夜の街に、そして自然の懐に包まれて、暖かいコミュニケーションを楽しみましょうとのメッセージ。  
そのイベント性から生まれる**経済効果と、自然環境を大切にしよう**という、これからの時代変革に必要な共有認識の普及というメンタル効果が期待される。

## ■ 時期

例えば、極大日の約1ヶ月前に当たる10月20日の午後等に一齐にキャンペーンを始める事で、インパクトと話題性を高める。その為に可能な限り関係者は極秘裡に準備を進める。

2年掛かりで段階的に盛り上げ、2002年以降には「夜空の日」として国民の祝日への制定提案など、新たな消費機会を創出する。

## ■ 内容

企業CM ————— 流星群を共通のテーマとして、それぞれの企業CMを自由に制作・放送する。

(こういったCMの在り方はまだ大規模にトライされていない新鮮さとインパクトがあり、テーマ共通の中の競争で、より個性的なCM表現が生み出される可能性が高い。多くの人々に共感の得られるテーマは、今日の価値観の多様化や世代の隔絶が進行しつつある中で少なくなっているが、誰もが願いを掛ける「流れ星」や「環境」というものはその一つと考えられる。

又、広告代理店サイドとしては、そのテーマ参加を提案として多様な分野への新たなクライアント拡張に活かしていけるし、共通の消費創出キャンペーン提案を通じてCMの役割と可能性を再認識させるものとなるのではないだろうか?)

駅や電車のポスター・吊り広告等、印刷関連でもかつて無い規模の**広告ジャック**を行う(これまでの1社によるジャックには限界がある)。

放送(TV・FM) ————— ニュースや番組・誌面でキャンペーンの主旨を広く伝え、情報を提供する。

マスコミ

WEB(携帯)

又、ドラマや特番・特集などでスポンサー提携をベースに、そのプロジェクトの主旨や楽しさを共感して貰う。

WEBネットやメルコミを通じて、広く環境を意識した情報の受発信にしていく。

宿泊・旅行 ————— ホテルやペンション利用、移動ビジネスの利用(JR・車・ツアーリスト etc.)

イベント ————— 各地天文台、天文同好会や高校・大学主催の星空ウォッチング大会。

アミューズメント

デパート屋上やショッピングモール・河川敷等、街中での身近なイベント。(ネオンサイン等、安全に必要な灯り以外は自主規制して貰い、一年に一度切りの**星空を楽しめる都会の夜**を演出する)

USJやTDL、ディズニーシー、ハウステンボス、エキスポランド(観覧車)等、全国のテーマパークで時間延長の星空ウォッチング。

学校・団体・施設 ——— 各団体が横の連携を取り合いながら、星空の楽しさと星見マナーを通じて、一般の人達を啓蒙し、自然環境の大切さを肌で感じてもらう。

※ その他多様な分野のビジネス・ボランティアがらみで追加が考えられる

※ 2001、2002年と段階的に展開の範囲を広めていく

## ■ プロジェクト事務局

プロジェクト事務局は全体的プロデュースを行い、イベントの円滑な進行の為に情報の整理発信を旨とする。

キャンペーン・ロゴマークやミュージック、キャラクター等の管理、Tシャツやステッカー、マグカップ・スターウォッチングチェアー等、派生関連キャンペーングッズ等の認定・開発取り扱いを行う。

# 企業CM

流星群を共通のテーマとして、それぞれの企業CMを自由に制作・放送する。

テーマ・ミュージックを各クライアントCM別アレンジ & アーティスト競作で展開する。

アーティスト名は秘密にしておき、人々に興味を持たせる。

ゴスペラーズ、宇多田ヒカル、茂森あゆみ、GRAY、綾戸ちえ、鈴木雅之、西村賢三、インストゥルメント、オーケストラ etc. にキャンペーンの主旨への参加意識を優先してのパフォーマンスをお願いする。

(強制はしない。むしろ、同じテーマで自由に創作して貰うのもあれば楽しいのでは?)

※ 『流星群の頃』(2001年)、 『星の観覧車に乗ろう』(2002年)、 『Skyfull Of Stars』 etc.: 別紙参照

業界分野と企業はあくまで参考であって、実際的にはもっと多様な参加が期待できる。

又、CMまで及ばなくても、協賛としての参加も受け入れ可能(マーク&ステッカーetc.)

## ■ 工業メーカー

- 自動車 ————— トヨタ、ニッサン、ホンダ、三菱、スズキ、マツダ、ダイハツ etc.
- 移動のメインアイテムとして外せない。星空マニアの多くが使っている4WDタイプはもちろん、峠のスカイラインを流すオンロードタイプもマッチング。例えば現場に近づけば、ライトを弱くして暗順応した人の目へ配慮する等、星空ウォッチャーのルール普及などもさり気なく……
  - 又、期間限定のキャンペーン企画としてスターウォッチング・チェアを進呈する。
- カーナビAV ————— パナソニック、三菱、パイオニア、ケンウッド、富士通テン、クラリオン etc.
- 『流星群の頃』のWordsにもあるように、暗れ間を求めてカーナビ見ながら一日地球を走るイメージ。カーナビにとって絶好のアピールイベントか? 又、カーオーディオやMP3オーディオ等をBGMにして、長時間のツーリングやウォッチングを楽しむ。トヨタとパナソニックカーナビの提携による共同CMも。
- オートバイ ————— ホンダ、ヤマハ、スズキ、カワサキ etc.
- 寝袋を積んで細い道も入っていける。オフロードに限らず、アメリカンやスポーツタイプも缶コーヒ一片手にバイクにもたれて星空を見上げるなんてとても格好いい!!
- 情報機器 ————— ソニー、NEC、富士通、IBM、パナソニック、Mac、日立、東芝、シャープ、Visor etc.
- 携帯パソコンで『ステラ・ナビゲーター』による星空シミュレーションを楽しんだり、PDA(ザウルス、Visor、Palm、CRI'e)による情報キャッチに従って行き先をセレクトするシーン。
- 携帯電話 ————— ドコモ、J-phone、ツーカーホン etc.
- iモードや次世代携帯電話のサービス利用のアピールやパーソナルネットワークによる星空情報交換。例えば、iモードで流星観測できる『e-流観』や『Leonids for Mobile』『i-流星観測』等の専用サイトがあるが、今後J-phoneやPalm等の次世代携帯情報端末の利用提案のアピールの場として考えられる。
- 一般家電 ————— パナソニック、ソニー、シャープ、東芝、サンヨー、NHK(BS) etc.
- 新しい宇宙グローバルの時代の映像・通信の機能とイメージをユーザーに伝える事で、家電テクノロジーの市場復権を魅力的に演出アピールする。
- カメラ ————— ニコン、キャノン、京セラ、ミノルタ、富士フィルム、コダック etc.
- 流星写真は素人にもそれなりに撮影できる簡単なものであり、現在デジタル化が進むカメラ業界にあって、銀鉛写真のフィールドとして復権アピールができるのではないかと。
- 印刷機器 ————— エプソン、キャノン、ヒューレットパッカー etc.
- 流星写真の仕上げに写真画質のプリンターを使用する事は、最近の非常に技術進歩によってポピュラーになってきている。星空写真にプリンターが使われている事実は高画質をアピール表現する事である。
- 保温機器 ————— 象印マホービン、イワタニプリムス、新富士バーナー etc.
- コーヒー・紅茶はもちろん、カップヌードルやスープ用のお湯の湯気が心と身体の芯から暖めてくれる。
- 天文機器 ————— ペンタックス、ミード、ビクセン、五島光学(プラネタリウム)、協栄産業 etc.
- 普段はTVCM等は行わないが、この機会に一般向けの光学機器普及の知名度を上げる。

## ■ 食品メーカー

- 清涼飲料 ————— UCC缶コーヒー、日東紅茶、伊藤園、サントリーウィスキー、森永ココア、ホットカルピス etc.
- 深夜の澄んだ星空を見上げながら流星雨を待つ手に缶コーヒーの暖かさが伝わってくる……。
  - 空き缶は持ち帰ろうという、環境に対するマナーもキャンペーンする。又、期間限定バージョンを販売する。
- ヌードル ————— 日清食品、マルちゃん、明星食品、クノール etc.
- カップヌードルや赤いきつねと緑のためき、カップスープ等を夜食にスる向こうにしし座が大きくなって来る。又、期間限定のキャンペーンパッケージを販売する。
- カレー・鍋 ————— ハウス、SB、エバラ etc.
- バーベキューや鍋物・カレーと、ややキャンプ的なノリでワイワイ楽しい星見もオツなものです。。
- 練り食品 ————— 雪印乳業、大塚製薬、ハウス食品 etc.
- チーズやチョコレート、カロリーメイト等ハイカロリーで食べやすい携帯食品は星空ウォッチングの友?
- スナック類 ————— ナビスコ、カルビー、明治製菓 etc.
- 自動車移動中や流星待ち時間の間食は星空ウォッチングの楽しみの一つ?、でも空き袋は必ず持ち帰ろう!!



# 放送・マスコミ・WEB

放送(地上&衛星TV・FM)・マスコミ・WEB(インターネット・携帯電話)等、  
新旧の情報ネットワークメディアの協力を得て、イベントを盛り上げて貰う。

一斉にキャンペーンを始める事で、インパクトと話題性を高める為に、  
可能な限り極秘裡に準備を進める。

## ■ 放送(地上&衛星TV・FM802)

- CM放送 ————— 民放やFMでは企業CMを通してイベントキャンペーンの中心的存在となって貰う。
- 番組編成 ————— 特番や特集などによりそのプロジェクトの情報や楽しさを伝えて貰う。  
※ 例えば、NHK『プロジェクトX』で現代のプロジェクトをリアル進行で取り上げる etc.  
※ 天文専門家や同好会アマチュアの人達の協力出演により、正しい情報を伝える。  
※ タレントプロダクション等の積極的な協力を要請する(例えば、天文マニアの  
ココリコ・田中が星見スポットを訪ね歩く深夜ライブ番組 etc.)  
※ ドラマの中でさり気ない会話シーンの話題のひとつで取り上げて貰う。
- デジタル放送 ————— 文字情報や情報の双方向性、ハイビジョン映像等、独自機能を活かしアピール。
- スカイPTV ————— 星空・流星群情報の専用チャンネルを設け無料公開し、新規加入促進の機会にして貰う。

## ■ マスコミ(新聞・雑誌)

- 印刷CM ————— TVコマーシャルに劣らず、協賛企業のCMは実際は印刷メディアの方が大きい?
- 誌面編成 ————— 特番や特集などによりそのプロジェクトの情報や楽しさを伝えて貰う。  
※ 天文専門家や同好会アマチュアの人達の協力寄稿により、正しい情報を伝える。
- 情報誌  
ミニコミ誌 ————— タウン誌や情報誌等の地域や生活に密着したメディアは、より身近で細やかな情報を伝達できる。
- 専門雑誌 ————— 「月刊天文」「天文ガイド」「星ナビ」があるが、中でも「星ナビ」はアスキー出版  
系列であり、「ステラ・ナビゲーター」(星空シミュレーションソフト)や、パソコン・  
インターネット関連等そのネットワークの広がりには強力である。

## ■ WEB(インターネット・携帯電話)

- ※ 今回のプロジェクトでは、放送・マスコミといった従来メディアはもちろん、  
NEWメディアとしてのWEBネットワークを積極的に活用していく21世紀型の  
イベントにしていきたい。特に2002年のキャンペーンにおいてはITメディア  
での展開を見据え、広告代理店サイドとしてもブロードバンド・メディアへの  
スムーズなシェア拡張の為の大きな機会として位置付けられる。
- ポータルサイト ————— ヤフー、ライコス、インフォシーク等の検索エンジンの協力を得て、流星群  
関連のポータルサイトを設置して貰い、星見スポットや道路情報、各地のイ  
ベントや星空専門情報など、全ての関連情報サイトを登録整理し使いやすく。
- 携帯電話 ————— iモードなどの携帯情報端末で色々な星見情報コンテンツを用意する。  
メルコミの伝播力を利用してイベント情報を広める。  
次世代携帯電話サービスの目玉イベントとして利用できないか?
- インターネット雑誌 ————— 上記についての多様な情報提供。

## 宿泊・旅行

自然条件に恵まれた地方に限らず、ビルやネオンの自主管理協力がとれば、年に一度の市街での星空ウォッチング & デートが可能になり、ホテルや展望penthouse・レストランの需要が期待できる。

### ■ 宿泊

ホテル・旅館 ————— シティホテル・リゾートホテル、また温泉旅館(露天風呂スターウォッチング)等、星見旅行の利用客が期待できる。

民宿・ペンション ————— 民宿・ペンション、また国民宿舎等、星見旅行の利用客が期待できる。

キャンプ場 スキー場 ————— オートキャンプ場やロッジ等、星見旅行の新たな利用客増加が期待できる。

### ■ 旅行

移動 ————— JR・近鉄・阪急・阪神・小田急etc.各地私有鉄道・JAL・ANA etc.

クルーズ ————— STAR-CRUISIES、ハーバービレッジ(洋上レストラン)、サンフラワー etc.

旅行会社 ————— JTB、阪急旅行社、近畿日本ツーリスト etc.  
流星群バスツアーや海外や航空機上からの星空ウォッチング等の企画。

※ 11月は旅行シーズンのには谷間であって、この時期の需要喚起は歓迎されるはず。

## イベント・アミューズメント

従来から天文施設や天文同好会を巡って、流星イベントが小規模的には個々に行われてきているが、共催などにより大きな星まつりをブロック企画して一般の人達に星空の楽しさを提案し、合わせて星見マナーや光害への啓蒙を通じて自然や住環境の大切さをアピール。

### ■ イベント

星まつり ————— 天文同好会やサークル、各地の天文施設(天文台・プラネタリウム)等が主催する、流星ウォッチングイベント。

※ 天文専門家や同好会アマチュア・学生の人達の協力ボランティアにより、星見マナーや光害への啓蒙や正しい情報を伝える。

アミューズメント ————— USJ・TDL・ディズニーシー・ハウステンボス等のアミューズメントパークや、アウトレット・ショッピングセンター等で、深夜開放による流星群の観望イベントを行う。(ミッキーマウスと一緒に、New Year カウントダウン的なノリで)。

ハップファイブ、ハーバーランド、エキスポランド、枚方パーク、浅草花屋敷等の観覧車で宇宙遊泳しながらの流星観望は超ロマンチック!!

## 学校・団体・施設

各団体が横の連携を取り合いながら、星空の楽しさと星見マナーを通じて、一般の人達を啓蒙し、自然環境の大切さを肌で感じてもらう。

### ■ 啓蒙・ガイド

- 学校 ————— 高校・大学の天文同好会や地学クラブの協力で、キャンパスで流星群観望ガイド。
- 天文団体 ————— 社会人を中心とした天文同好会やサークルの協力で、各地のスポットでのガイドや啓蒙活動。
- 天文施設 ————— 各地の天文台やプラネタリウム・科学館の職員の協力で、地域の人達の星空ウォッチングガイド。

### ■ 情報伝播

- 各種団体 ————— 各地の婦人会や老人ホーム、幼稚園や小中学校、青年会議所や駅前商店街、各種協同組合 etc.

## プロジェクト事務局

流星群プロジェクトには多方面の参加が必要であり、それぞれの調整と広報的な部署を担い、全体的プロデュースとイベントの円滑な進行の為に情報の整理及び受発信を旨とする。

又、キャンペーン・ロゴマークやキャラクター、ミュージックの管理、Tシャツやステッカー、マグカップ・スターウォッチングチェア等、派生関連キャンペーングッズ等の認定・開発取り扱いを行う。

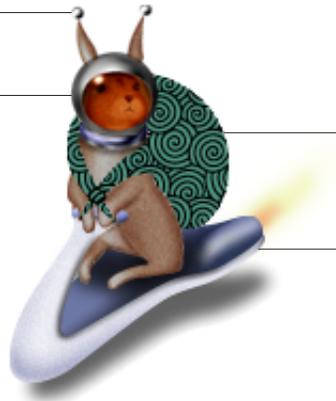


全ゆるものと交信できる

これだけで宇宙空間で生きられる

夢と酸素と野菜ビスケットを背負っている

SPACE BOARDで気ままに移動する



■ 星先案内人 “RAVINI: ラビット+ナビゲーション”



作詞・作曲：コバタイサオ

## 流星群の頃

流星群の頃になれば思い出すよ  
Car Navi たどって  
晴れ間さがして  
地球を彷徨うばかり  
Troubleにさえ驚く程  
素直になれる二人が行く  
素晴らしい未来が待ってる予感

慣れ始めていた 当たり前の愛情  
忘れかけていた Thanks for 日常  
貴方がいること

流星の雨見せてくれる  
約束などできないはず  
でも 横顔信じてるね

流星群の頃になれば思い出すよ  
Schlaf 積み込み  
紅茶湧かして  
仕事は残したまま  
Binoculars など要らないのに  
自慢してたね 二人が行く  
新しい景色が流れるWindow

再び巡りくる遙かなこのShow  
長い時超えて連れて行ってよ  
貴方といるから

流星の痕(あと)描く程に  
Impressive に出会いたいね  
深くふかく感じ合って

《間奏》

再び巡りくる遙かなこのShow  
長い時超えて連れて行ってよ  
貴方と行くから

流星群の頃になれば思い出すよ  
Car Navi たどって  
晴れ間さがして  
Schlaf 積み込み  
紅茶湧かして  
Audio 絞って  
風に吹かれて  
.....



作詞・作曲：コバタイサオ

## 星の観覧車に乗ろう

君を彩る Neon Sign も  
眼下に流れる Tail Light も  
眠らない街をすべて消して  
Imagine 見えてくるものがあるさ

ゆっくり頬落ちた涙  
気付かないように見上げている  
夜空に滲んだ Stardust  
時の中に息づく

星の観覧車に乗ろう  
驚いて振り向く君を  
Polar Star 見つめて Destiny  
永遠の風にまかせ吹かれよう

君が微笑むことは何でも  
叶えようなんて頑張ってきた  
幼い愛し方だったよね  
眩しい夢を繰り返してた

微かに気付いていたんだ  
戸惑いの中で壊れていく  
夜空に溢れ出す Memory  
優しすぎた日々達

星の観覧車に乗ろう  
君と Albireo になって  
Polar Star 目指せば Swing By  
永遠の旅の果てへ流れよう

星の観覧車に乗ろう  
驚いて振り向く君を  
Polar Star 抱きしめ Desteny  
永遠に回る観覧車に乗ろう



作詞・作曲：コバタイサオ  
編曲：沈(しん) あゆみ

## SKYFULL OF STARS

こんな小さな惑星(ほし)の上で  
君と出会ったこの不思議を  
胸に抱いてひとり歩きだすのは淋しいから、せつないから  
いつか愛した時代達も  
そして流した哀しみもすべて乗せて  
君へと向かう旅は届かない絵物語なのか？

Skyfull of Stars 君の心が見えてく  
Skyfull of Stars 遠い銀河を探して Deep Purple  
Skyfull of Stars 果てしない時空(ときぞら)を  
Skyfull of Stars 流れろ

静かに巡る日々の中で  
見つけた夢のそのかけらを  
壊さないでずっと佇むなんて虚しいから、せつないから  
いつか愛した言葉達も  
そして失くした故郷も  
まぶた閉じて想い澄ませば  
きっと終わらない寝物語なのさ

Skyfull of Stars 君のひとみ映してく  
Skyfull of Stars 淡い光抱きしめて Keep Pretty  
Skyfull of Stars 眠れずに夜明けまで  
Skyfull of Stars 瞬け

( 転調：半音# )

Skyfull of Stars 君の心が見えてく  
Skyfull of Stars 遠い銀河を探して Deep Purple  
Skyfull of Stars 果てしない時空を  
Skyfull of Stars 流れろ

※ Skyfull of Stars：満天の星

# 参考資料



・1833のアメリカの流星雨(版画)



・1998未明の大火球(日本)

▼ Leonids for Mobile  
難波田康治さんによる、i-modeでしし座流星群の最新情報が提供された。  
<http://user3.alinet.ne.jp/naniwada/mobile.htm>

▼ e-流観  
瀬戸内地区流星観測者会による、しし座流星群で公開実験された。  
<http://www.maruse.ne.jp/e-ryukan/2000leo/index.html>

▶ i-流星観測  
アストローツによる。はじめに、観測地やメールアドレスなどを入力し、登録ユーザー専用のページで利用。観測後はグラフ化された集計結果(下図参照)を見ることが出来る。  
<http://www.astroots.co.jp/i/meteor/index-j.html>

今年の「しし座流星群」の観測結果の集計

流星観測は、観測者による「e-流観」や「i-mode流星観測」など、様々な観測方法が行われていた。観測結果は、観測者から集計され、観測結果の集計結果が発表された。観測結果の集計結果は、観測者から集計され、観測結果の集計結果が発表された。

## トレンドファイル Vol.3

観測ブームに火をつける？

# i-modeで 流星観測

流星観測は、観測者による「e-流観」や「i-mode流星観測」など、様々な観測方法が行われていた。観測結果は、観測者から集計され、観測結果の集計結果が発表された。観測結果の集計結果は、観測者から集計され、観測結果の集計結果が発表された。

流星は、観測者による「e-流観」や「i-mode流星観測」など、様々な観測方法が行われていた。観測結果は、観測者から集計され、観測結果の集計結果が発表された。観測結果の集計結果は、観測者から集計され、観測結果の集計結果が発表された。

・日本列島に降る流星雨(シミュレーション)

**Caution!**  
99年は日本で流星雨の可能性が指摘されましたが、空振りになりませんでした。流星雨の出現は、日食や月食のように正確に予測できるものではありません。これは、流星雨をもたらす数億個の流星物質の分布がはっきりせず、地球がそこを通過するかどうか不明だからです。99年は、ピーク時に数十分程度の流星が降る、幸運に恵まれたれば、それ以上の流星雨がみられるかもしれません。必ず流星雨が降るとは限りません。ことに注意してください。

## 11月17日～18日を中心に大出現の可能性も！ しし座流星群 観望 大作戦99

いよいよ1999年最大の天文現象のひとつ「しし座流星群」がやってきます。  
11月17日夜～18日朝を中心に、運がよければ夜空を乱舞する流星雨を見ることが出来るかもしれません。  
マンガ「やみくも天文同好会」のメンバーが99しし座流星群「直前総ガイド」をお届けします。

まんがストーリー／藤井龍二  
解説イラスト／加賀谷隼(星の手帖社) 高部智也(リブラ)  
99年のしし座流星群(スロバキア・コムニウス大学数理学科天体研究室提供)



・都会でもビルやネオンの自主規制ができれば……